

一般社団法人 日本生殖医学会 御中

事務連絡
令和4年12月26日
厚生労働省保険局医療課

不妊治療に係る先進医療の審査体制の強化及び申請相談について

平素より、不妊治療に係る保険適用の運用につきましては、格別のご配慮を頂いておりますことに感謝申し上げます。

令和4年4月より不妊治療が保険適用としての運用が開始されました。保険適用となった技術以外について、現時点ではエビデンスが不足しているものの、将来的には保険適用の可能性のある技術については、保険と保険外を併用して診療するために先進医療として申請があったものは、先進医療会議で審査の上で適用を行ってきたところであり、令和4年12月時点で11技術が適用されています【別添】。

令和6年度診療報酬改定に向けては、先進医療として実施されている技術も含めて、有用性等が認められる技術については保険適用の対象として検討することとなります。

今般、先進医療会議における、不妊治療に係る審査体制を強化することとしました。特に、これまで保険外となっていた医薬品の利用についても先進医療の範囲となり得ますので、先進医療の適用の可能性のある技術については、この機会に申請をご検討頂ければ幸いです。特に、令和5年1～3月にかけて、事前相談の体制も充実して対応したいと考えておりますので、相談の希望がありましたら、別紙に記載の上、ご提出をお願いいたします。

【提出先】

lryouka-tyousa@mhlw.go.jp

- ※ ご提出頂いた後に、先進医療の担当者からご連絡して、相談となります。
- ※ 同技術を複数の医療機関から提出頂いた場合には、合同で相談する場合があります。
- ※ 直接の連絡が必要な場合は、保険局医療課：米澤 03-3595-2577

【締め切り】

第1弾：令和5年1月31日（火）

第2弾：令和5年2月28日（火）

第3弾：令和5年3月31日（金）

(別紙)

※ 可能な範囲で記載してください。詳細が記載できなくても相談は可能です。

申請技術

技術の概要

先進医療の範囲

担当者(連絡先)

先進医療会議における検討状況（令和4年12月1日時点）

○ 先進医療会議（令和3年9月2日、令和3年10月7日、令和3年11月4日、令和3年12月2日、令和4年1月6日、令和4年2月6日、令和4年3月3日及び令和4年4月14日、令和4年5月12日開催、令和4年6月9日、令和4年7月7日、令和4年8月4日、令和4年9月8日、令和4年10月6日、令和4年11月10日、及び令和4年12月8日開催）資料より引用、及び保険局医療課より一部補記し作成。

申請技術名	技術の概要	先進医療会議における検討状況	先進医療A/Bの割り振り	(参考)ガイドラインにおける推奨度
PICSI	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術。	適	先進医療A	C
タイムラプス	培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術。			
子宮内細菌叢検査 (EMMA/ALICE)	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。			
SEET法	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術。			
子宮内膜受容能検査 (ERA)	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。			
子宮内膜スクラッチ	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。			
IMSI	強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。			
子宮内フローラ検査	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。			
子宮内膜受容期検査 (ERPeak)	子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。			
二段階胚移植法	先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。			
反復着床不全に対する投薬（タクロリムス）	反復着床不全に対して、免疫抑制剤（タクロリムス）の投与を行う技術。		先進医療B	C
マイクロ流体技術を用いた精子選別	特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術。	条件付き適	先進医療A	-
PGT	胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術。	審議中	先進医療B	B

・ 先進医療会議における検討内容の詳細については、以下のURLをご参照ください。

（不妊治療に関する取組） 随時更新予定 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/funin-01.html